

彗いりん倫

第4号

令和3年1月

立校業組
市学卒
田中1
酒第40
昭3年級
同級

新年あけまして おめでとらございます

阿部茂先生からのメッセージ

先日は暑中お見舞ありがとうございます。又、学級新聞三号もありがとうございました。
主人は現在入院中ですので私が代筆いたします。
『彗倫』三号お目出度うございます。在学当時のことはなかなか思い出せないが、すべてなつかしく見させていただきました。大変お目出度うございます。

皆様のご多幸をお祈りいたします。 茂

追伸、新聞を見た瞬間、「みんながぼつてゐるの！」と楽しそうに発していました。

2020年9月8日



修学旅行 / 羽田空港にて (山木さん提供)

山木直繁さんから

昔、流行った頃に、今日もコロナ、明日もコロナ、これじゃ年がら年中、「コロナ」「コロナ」というのがありました。いつまで続くのでしょうか。(判るかな?「コロナ」→「ロックダウン」)

感染症は誰もが罹る病気でお互いに注意しあう事しか身を守る事が出来ないのは、判っているにも関わらず、誹謗、中傷による犠牲者も出てしまっています。一刻も早く騒ぎが治まることを祈ります。

このご時世で、外出は控えています。我が身の病院受診は、3ヶ所忘れることなく出かけています。「コロナに罹漢したら重症化する可能性が、年令とともに大きくなるので、ごつぞ皆さんも厳寒に向かい、ご自愛ください。」

蛇足ですが、「コロナ」の字を組み合わせると「君」

男子生徒だけの記念撮影 (なんの記念?)



戸次温子さん撮影

戸次(島崎)温子さんから

皆様、こんにちは。毎日コロナの話題で気が滅入ってしまいますね。

私もこの1年、心身共に不調でしたが、1つだけ幸せだな、と感じる事があるので、今日はその事を書きます。

それは、家の窓から富士山が見える事です。マンションの4階で、西側に窓があり、そこから結構しっかり見えます。

地図で測ると、直線距離で90km位かな。もちろん高層マンションや、もっと近い所に住んでいて、当たり前に見える人もいるかと思いますが、

という字になりますよ。

相手の気持ちを思いやる行動をとりましよう。(追伸) 中時代の国語の先生、丸岡誠一先生が先日亡くなりました。当時の先生で存命なのは阿部茂先生や朝井融(とある)先生くらいです。皆さん85歳です。

大鳥(斎藤)敬子さんから

外は吹雪、朝雪除けしたのに玄関前はもう吹き溜まり。窓から見える隣家の氷柱がずらり、五十センチ位もある。まだ、十二月なのに。酒田を離れている方達には、懐かしい光景かな。

私は、掛軸、額装、襖、障子の張り替え等の表具を仕事としている。今年は各書道展、文化祭個展等中止になり、ほぼ休業状態。

その分自身の時間がたつぷり。マスクしての友人との。お茶、ウォーキング、裏の庭にいる時間も増えた。リンゴやサクランボ、カリンの花。十本あるバラもよく咲いてくれた。

お礼に私も植え替えの手伝いを。

来年はアルストロメリアや菊の花ちゃんと手入れをしよう。二本あるリンゴやブルーベリーは鳥害でほぼ全滅。来年はネットを張ってせめて半

日下部(本間)由美子さんから

3年1組の皆様あけましておめでとございます。体力がだんだんおちてくるのを感じながら、でも、ふんばって過ごしています。

皆様いかがでしょうか。

今年の目標は、アコースティックギターをもう少しうまくなり、レパートリーもふやしていき、花を種からいっぱい咲かせること。

何年もおかるから、足をきたえ、頭も…少しづつがんばりたい

追伸。義理の姉が茂先生と同期で、赤部先生も新聞をうれしそうに見ています。

先生達はしあわせ者だとも…。



分位は収穫を楽しみたい。ジャムにしてもいい。令和三年はどんな年になるのだろう。若い人達がイキイキと過ごしていけるような、そんな年であってほしい。



吉野(大内)葉子さんから

この度は、学級新聞「彗倫」を送って下さりありがとうございます。大変懐かしく読ませて頂きました。

この素晴らしい新聞の継続を願いつつ、新しい年が、良い年でありますようにお祈りいたします。

吉野(江口)広子さんから

「コロナ」が家の近くまで迫って来ているので、家でびびっています。

皆さんどうしていますか。

阿部(元木)由美子さんから

明けましておめでとございます。

白川さん、平澤さん、いつも新聞ありがとうございます。

皆さんの声が聞けてうれしいです。

昨年は1月から「インフルA」で寝込みながらテレビのコロナニュースを見ていました。

それが一年たっても収まらず酒田もクラスター等で大変です。

昨年は楽しみにしていた沖縄行きも温泉にも行けず、ジッと我慢の日々でした。

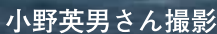
今年一年も庄内から出ずに「かからない、うつさない」思いで過ごすつもりです。

早く何も気にせず皆に会える日がくるといいですね!

それまで元気に頑張りましよう。

記憶に残っています。「物忘れの多い」、「階段のぼりが容易でなく」、「人の名前が思い出せない」、などなど、「□□のせいではないけれど老いをひしひしと感じます」。

今年は酒田に帰ろう。帰って、みんなに会って山本君とうまい日本酒も飲みたい。つまみは炙ったするめでもいいし、岩ガキも少し。古口の駅前にうまいばた餅屋があるというし、橋のたもとの「はなまきうどん」がおいしいと目下さんが言っていた。日和山公園から港を眺めてほんやり過ごしていた。



2020年度、わが酒田市は、総合4位、若者13位、子育て23位、シニア1位でした。こんな見出しです。「シニア世代が安心して第二の人生を楽しむ歴史と文化が薫るまち」。

ところが書いている途中、自分の人生の中で楽しかった時代のことを先に書きたくなった。それは20年前に町内のオヤジ連でバンドを作った町おこしをやろうと遊び半分に始めたことだった。当時のことは鮮明に覚えていて書きながら楽しくなってきた。ブルーアトラス物語、平井龍一、応ペンネ、ムという表題で、おやじバンドの話を書いた。



さて書き終わってからどうしようかと思ったのだが、とりあえず自分のホームページに掲載して、当時のバンドの動画もyoutubeに飛ばせるようにした。びっくりするほどたくそ！

自分の父親がこんな事に一生懸命だったのだと我が子に伝わればそれでいいと思っている。

今年はまた「生い立ち」を書き続けていこうと思っています。